

美点凝視

第 15 号
H23. 3
狭山台小学校
学校だより

あとわずかとまりました

とうとう「去っていく」三月になってしまいました。

六年生は、本校の第一回卒業生として巣立っていきます。その卒業証書授与式の準備が三月から本格的に始まります。一番大切なのは、六年生の心の準備です。今まで、卒業アルバムの作成などをおして、卒業に向けての意

識を高めてきたものと思います。いよいよ卒業式、「自分たちのための卒業式だ」という意識で、練習の時から主体的に取り組み、「卒業生があんなに頑張っているのだから、在校生も頑張るぞ」と思わせることが出来たらいいなと思っています。

小学校生活の集大成として、卒業生が卒業式をリードして作り上げ、その手伝いを在校生は心を込めて行う。狭山台小学校の卒業式はこのように行う

3月行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	火	お話朝会、授業参観・懇談会(高学年)	17	木	学年朝会、卒業式予行
2	水	社会体験学習(けやき学級)	18	金	
3	木	児童朝会、クラブ	19	土	
4	金	6年生を送る会	20	日	
5	土		21	月	春分の日
6	日		22	火	特短4、大掃除、お別れ会
7	月	卒業式椅子だし	23	水	第1回卒業証書授与式、臨時休業日(1~3年)
8	火	卒業式歌練習、狭山台中3送会(5年生)	24	木	短3、6年生臨時休業日
9	水	なかよしタイム	25	金	修了式、6年生臨時休業日
10	木	心豊かな日、安全点検、クラブ	26	土	
11	金	学年会	27	日	
12	土		28	月	学年末休業日
13	日		29	火	
14	月	卒業式練習	30	水	
15	火	狭山台中卒業式	31	木	
16	水		1	金	春季休業日

のだという伝統の一步を確実に踏み出してほしいものです。

一年生から六年生まで、今年度が終わるまで一ヶ月足らず、クラスの友だちや先生と生活するのもわずかとなくなりました。「最高のクラスだった」「最高の友達だった」「最高の先生だった」と思っていて、次のステージに進むことができるように、一日一日を大切に生活してほしいと思います。

保護者の皆様には、これまで本校の教育活動に御理解と御協力をいただきありがとうございましたことに、心より感謝申し上げます。あとわずかとなくなりましたが、よろしくお願い致します。

五年生も頑張っています

五年生が「総合的な学習の時間」に保育園や幼稚園の幼児との交流をしています。

お世話になったのは、みつばさ保育園、西武学園狭山幼稚園、みどり幼稚園、狭山台幼稚園です。そのうち、狭山幼稚園と狭山台幼稚園は、本校で給食の体験を行いました。

五年生は、三学期に入るとすぐに、交流の準備を始めました。グループごとに、交流の時に使うゲームやおもちゃ、紙芝居や劇の台本づくりなど、幼児が喜ぶような創意工夫をこらしていました。

その時の光景を見ると、本当に楽しそうでした。作る人たちがこんな楽しいのが出来るのだから、きつと楽しいものが出来るだろうし、幼児も喜ぶだろうなと思いました。

さて、幼稚園や保育園での交流はどうだったのでしょうか。ある幼稚園の園長さんは、

「インフルエンザが流行っています。手洗い・うがいの励行を」と、ことあるごとに子どもたちに言ってきましたが、不覚にも、私がインフルエンザに罹ってしまいました。

不摂生のせいでしょうか。ちょっと熱があるな、関節が痛いな、寒気がするな、頭が痛いなどと徐々に症状が増えると共に、症状が悪化し、帰宅途中に、病院に寄ったときには、熱が三十八度五分になっていました。

診察の結果は、インフルエンザA型。タミフルを処方していただき、帰宅後、すぐに寝ました。

何が悪かったのか。手洗い・うがいを励行し、マスクも着用しているのに。

そう言えば、電車での通勤があり、帰宅後、ボタン・キューと寝てしまったのを思い出しました。

規則正しい生活の大切さを思い知らされると共に、

「健康第一」を、つくづく考えさせられました。

来年は予防接種をし、インフルエンザに備えます。

「とても素晴らしい交流が出来ました。五年生の出し物に感動しました。子どもたちも大喜びでした。」と言ってくださいました。準備の成果が出たようです。

給食の体験に来た園児に校舎内の案内をしている様子を見ると、五年生がとてたくましく見えました。

園児は、お兄さん、お姉さんに手を引かれ安心して校舎内を見学していました。来年の最上級生も素晴らしい最上級生になりそうです。


